

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 5 年 4 月 25 日



## 豊中ロータリークラブ

第 2973 例会

第 2568 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022~23 年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファー E. ジョーンズ  
(Windsor-Roseland RC)



2022.7~2023.6

会 長 都井正剛  
副 会 長 武枝敏之  
幹 事 岩本洋子  
雑誌・広報・会報委員長  
澤木政光

本日（4月25日）のプログラム

「国際奉仕月間に因んで」

国際奉仕委員長：横田広司

～国際奉仕フォーラム～



次週（5月9日）のプログラム

「RYLA セミナーに参加して」

RYLA 青少年参加者

音花 慶太

### ☆会長の時間☆

「ロータリーでの活動目標」

2022-23 年度 会長 都井正剛

ロータリーの活動の中心となるのがクラブです。ロータリアンは、例会で仲間たちとの交流を楽しみながら、情報を交換し、奉仕活動について話し合い、より良い地域社会づくりに力を注いでいます。

クラブでは、プロジェクトの管理や、人前でのプレゼンテーションを行うためのスキルを磨いたり、ほかでは会うことのできないような人びととの出会いがあります。地域社会の問題や世界がかかえる課題を解決するために、異業種の仲間と一緒にプロジェクトに取り組めるのも、ロータリークラブならではの魅力です。

世界中どこへ行っても友人に会えるのは、全世界に 35,000 以上のクラブがあるロータリーだからこそ可能なこと。双子クラブ、友情交換、ロータリー行動グループ、ロータリー親睦活動グループなど、さまざまな交流を通じて友情と奉仕の輪を広げましょう。双子クラブ（または姉妹クラブ）は、国際理解と親善を深め、共同で奉仕プロジェクトに取り組むために、海外のクラブと長期的な関係を結ぶものです。ロータリアンやその家族が海外を訪問し、異文化や新しい考え方を学ぶことができるのが、ロータリー友情交換です。交流を通じて互いへの理解を深めることから、平和への第一歩がはじまります。ロータリー行動グループは、特定分野を専門とするロータリアンとその家族、ローターアクターが集まる国際的なグループです。グループのメンバーは、それぞれの専門スキルや経験を生かして、クラブや地区の奉仕プロジェクトにもアドバイスや支援を提供しています。ロータリー親睦活動グループは、同じ趣味や職業をもつロータリアンとその家族、ローターアクターが集まる国際的なグループです。スキューバダイビング、マラソンといった趣味や関心から、医師や弁護士などの職業を中心にしたグループまで、多岐にわたります。また、親睦だけを目的としたグループもあれば、奉仕プロジェクトを実施しているグループもあります。

**四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか**

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時（土日祝を除く）

H P アドレス：[www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/](http://www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/)

メールアドレス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

## 例会出席報告☆

	第2972回	第2969回
例会日	4月18日	3月28日
① 会員数	31	35
(内出席免除者)	7	8
② 出席義務者数	24	27
③ 出席義務者出席数	17	16
④ 出席免除者出席数	3	4
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	7	11
出席率 %	74.07%	70.97%

出席率(2972回) ③+④/②+④ 出席率(2969回) ③+④+⑤/②+④

## 幹事報告

### 国際ロータリー第2660地区より

「2023-24年度クラブ周年行事の報告のお願い」が届きました。

「ロータリー学友会春の総会 御礼状」が届きました。

「2023年メルボルン国際大会・大阪地区ナイト 登録推進のお願い」が届きました。

## 掲示板

### 国際奉仕フォーラム

日時：2023年4月25日(火) 本日例会終了後

場所：ホテルアイボリー 例会会場

### 春のRYLA

日時：2023年5月3日、4日、5日

研修会場：大阪府立青少年海洋センター

### 第11回定例理事会

日時：2023年5月9日(火) 例会終了後

場所：ホテルアイボリー 例会会場前

※新旧合同理事会になります。

### 地区会員増強セミナー

日時：2023年5月20日(土)

場所：大阪YMCA会館

### 春の親睦ゴルフ

日時：2023年5月21日(日) 10:05 スタート

場所：茨木国際ゴルフ倶楽部 東→西

## 4月4日のお客様

- ・〈公財〉チャイルド・ケモ・サポート基金  
監事 大阪南RC 山岡 大 様
- ・RYLA 参加青少年 音花慶太君
- ・米山奨学生 アジサイハンさん
- ・豊中RC奨学生 シュウ・ランさん

## 4月18日のニコニコ箱報告

- ・家内の誕生日祝いを頂いて 原会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 立石会員
- ・松山会員朝日カルチャーセンターでの  
ご講演有難うございました。  
ご参加の会員様お疲れ様でした。  
武枝会員
- ・朝日カルチャー連携シンポジウム、有難  
うございました。 松山会員
- ・写真を頂いて  
澤木、村司、矢野、松山、武枝、都井、  
眞下、藤田各会員

## 豊中ロータリークラブ・中之島ロータリー クラブ 朝日カルチャーセンター連携シンポジウム

4月13日木曜日 16:00~17:30

中之島の朝日カルチャーセンターにおいて、中之島ロータリークラブとの連携シンポジウムが開催されました。

当クラブより、日本糖尿病学会認定専門医の松山会員が、「健康寿命を延ばすには」という題目で講演されました。

中之島ロータリークラブからは、「手術をしない膝と股の変形性関節症の新治療法。鎮痛剤入りヒアルロン酸と再生医療」という題目で、戸田整形リウマチ科クリニック院長の戸田佳孝先生がご講演されました。

当日は、たくさんの方がお越しになりました。

松山会員、お疲れ様でございました。

豊中RC 会長 都井正剛  
幹事 岩本洋子



## ☞4月18日の卓話☞

チャイルド・ケモ・ハウスの挑戦  
“がんになっても笑顔”

〈公財〉チャイルド・ケモ・サポート基金 監事  
大阪南ロータリークラブ 山岡 大 様



### チャイケモのこと

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金は、兵庫県神戸市にある施設「チャイルド・ケモ・ハウス」利用者の支援とともに、地域での活動を行っています。神戸市・西宮市・尼崎市を拠点として、重い病気をもつ子どもたちや家族のための相談窓口や居場所づくりを行っています。また、当事者の声をたくさんの方へ届ける研修会や啓発活動を行い、病気の子どものみならずご家族のそばに、安心してわかりあえる人の輪を広げていきたいと思っています。

### 相談する

制度やサービスはたくさんあるけれど、何がお子さんに必要なのかをご家族だけで見極めたり整理したりするのは大変なことです。また、そういった社会資源だけでは解決できない問題や悩みもあるかと思えます。チャイケモの相談支援では、相談担当の保健師・心理士等がお話を聴き、一緒にできることを考えていきます。

大切にしているのは、疾患や相談の内容に関わらず「子どもたちやご家族と、同じ目線で寄り添っていききたい」ということ。お話をお聴きする方法も、選んでいただけるように準備しています。みなさんにとって一番安心できる形で、どんな些細なことでも構いません。

### 楽しむ

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金では、病気のお子さんやその兄弟、家族のみなさんがほっと安心して楽しめるような機会やイベントを企画しています。

少人数でおしゃべりしたり遊んだりできるような小さな会から、地域のお友だちも交えてみんなで楽しめるイベントまで。お子さんやご家族の状況に合わせて、お気軽に遊びに来てください。スタッフ一同、みなさんにお会いできることを楽しみにしています。

### 支援について

チャイケモを支援いただく場合、ご寄付・募金のほか、物品や食料による「モノ寄付」や、イベントや清掃などボランティア活動に参加したり、企業の場合であれば、ノウハウ・製品を活かした CSR 活動や、SDG's に関連した活動として取り組むことも可能です。

ご寄付の場合、「チャイルド・ケモ・ハウス」を運営するチャイルド・ケモ・サポート基金は、公益財団法人であり、確定申告や企業損金控除をすれば、寄付額の一定割合が還付されます。同様に、神戸市と提携して実施している「神戸市ふるさと寄付」「神戸市ガバメントクラウドファンディング」では、ふるさと寄付のしくみにより所得税・住民税が還付されます。

### 大切なお知らせ

このたび、私ども NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウスは、2022 年 8 月末をもち発展的解散の手続きを経て、ともに神戸・ポートアイランドにある施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の運営を行ってまいりました公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金に統合されることとなりました。

これまで NPO 法人チャイルド・ケモ・ハウスが実施してまいりましたすべての事業は、統合後も公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金にて継続していく予定となっております。

この組織変更により、施設「チャイルド・ケモ・ハウス」のよりよい運営や、ハウス内にとどまらず、地域で過ごす重い病気をもつお子さんやご家族へも、そのニーズにそった支援が実施・継続できるよう取り組んでまいります。

今後とも引き続き「公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金」や、その活動へのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。